

設楽ダム計画をご存知ですか？



ネコギギ博士

皆さんはじめまして！

三河湾に注ぐ^{とよがわ}豊川にすんでいる

^{ぜつめつまくしゅ}絶滅危惧種のネコギギです。

設楽ダムについてお話しします。

はじめに

いま、設楽ダムをつくらうとしているお役所（国土交通省中部地方整備局）は、以下の二つのむだな事業を実施して、巨額の借金を作ったうえ、大規模に環境を破壊した、はっきり言うと前科者です。

一つめは、長良川河口堰をつくったこと

その目的だった水資源開発は、需要がなくほとんど使われていません。

本流にダムや堰^{せき}の無い日本でただ一つの一級河川、長良川の河口に堰を設けて分断し、もともと一つながりの^{きすしいき}汽水域の生態系に大きな影響を及ぼしました。

二つ目は、揖斐川上流に日本一の貯水容量（6 億 6000 万 m³）の徳山ダムをつくったこと

その目的だった水資源開発は全く需要がなく、1滴も使われなくて、ただ水をためているだけです。

こんなひどい、むだな事業を行ったお役所が、今また、設楽ダム建設を進めているのです。

愛知県東部、豊川流域の豊かな自然を子や孫に受け渡すことが地域の大切な目標だと、私は考えています。お役所は自然や地域社会を壊すことはないと言っていますが、設楽ダムは取り返しのできない環境破壊をひき起こすことは間違いありません。豊かな水源の森と里、また里海・三河湾を守るため、いっしょに力を合わせ、設楽ダムを止めましょう。

Q1

どこに、どんな大きさを
つくるの？



愛知県の設楽町に、愛知県 内一番の大きなダム

愛知県の東部、静岡県境に近い豊川水系の上流に計画されています。総貯水容量が 9800 万 m³、有効貯水容量は 9200 万 m³ で、完成すると愛知県で一番大きなダムになります。この地域の主要な水源である宇連ダムは、有効貯水容量が 2842 万 m³ なので、**設楽ダムはその 3.2 倍の大きさ**です。また、宇連ダムは年間およそ 8400 万 m³ の水を供給していますが、設楽ダムの計画供給量はたったの 1500 万 m³ 程度です。設楽ダムは、図体は大きいですが水源の働きは宇連ダムの 5.6 分の 1 しかないのです。



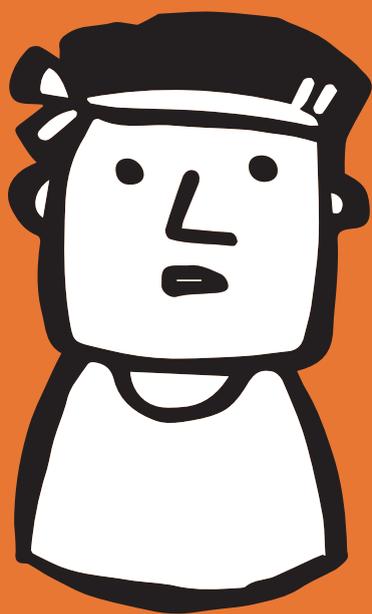
宇連ダムと設楽ダム
しゅうすいき
集水域の比較

1 番大きくても
水を集められる区域が 1/3 なんだね



Q2

誰が計画して、どのように
進められてきたの？



国と愛知県が計画し、
これまで40年^た経ちました

国（建設省）が1973年に7～8000万m³のダム計画を地元を示したのに対し、設楽町挙げて絶対反対の決議を出すなど^{こぼ}拒んできましたが、**下流市町の発展のために水資源が必要だと**、国・愛知県は執念深く押し進め、はじめより規模が拡大されました。

途中で、水資源開発の必要性が減ったのに、不特定利水（「流水の正常な機能の維持」目的）を大幅に増やして、9800万m³と当初の計画より大きくなりました。川に流すための水を蓄えるのが主目的という非常識なダムは、世界中どこにも例がありません！！

Q3

何の役に立つの？



水は足りているので役に立たない

用途別の貯水容量は、以下のようになっています。

- 水道用水が 600 万 m³ (新規開発水量 0.179m³/ 秒)、
- 農業用水が 700 万 m³ (新規開発水量 0.339m³/ 秒)、
- 下流の洪水調節のために 1900 万 m³、
- 「流水の正常な機能の維持」のために 6000 万 m³

実際には、**2002 年 3 月に豊川総合用水事業が完成して、水道用水やかんがい用水は不足がなくなりました。**

また、下流の水害対策はダム抜きでより安価にできます。

もちろん、非常識な「流水の正常な機能の維持」のための貯留は不要です。

URL: <http://no-dam.net/shiminkensho.pdf>



Q4

おカネはいくらかかって、
誰が払うの？



愛知県内の水道料金は上がる。 農家の負担金も上がる

計画では、ダム建設費として 2070 億円が計上されていますが、水源地域対策特別措置法関係の費用を含めると少なくとも 3000 億円かかります。このうち、**愛知県は県営水道分を含めて 1400 億円を負担することになっています**。この外に、ダムの維持管理費、ダムの寿命がきたときの撤去費用が必要となります。なお、多くのダムの例では、費用が膨らんで、当初の予算を大幅に上回っています。

中部地整の資料によってダム建設費用の目的別負担割合から水道用水とかんがい用水の開発水量**毎秒 1m³ 当たりの費用を求めると、水道用水は 1270 億円**、かんがい用水は 691 億円となります。

木曾川水系の長良川河口堰 42 億円 (85 年)、阿木川ダム 133 億円 (91 年)、味噌川ダム 195 億円 (96 年)、徳山ダム 143 億円 (2003 年) (いずれも平均流量 1m³/秒あたり) と比べてみれば、**設楽ダムの水は異常に高いことが分ります**。

Q5

犠牲になるのは誰？

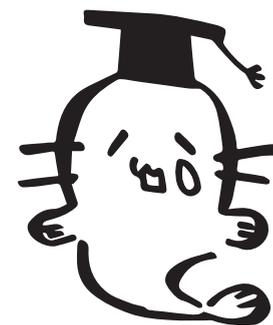


故郷を失った 120 戸が 離散・移転。 貴重な生物も犠牲になる

約 120 戸がダム湖に沈み、寒狭川（豊川の上流部）の清流の生きものたちが水深 100m 余りのダム湖に沈みます。絶滅危惧種クマタカの餌場の一部も水没します。アマゴやアユの釣り場が消滅し、清流の鳥ヤマセミやカワガラスも犠牲になります。寒狭川の渓谷に沿って東海自然歩道が通る国定公園区域も水没します。

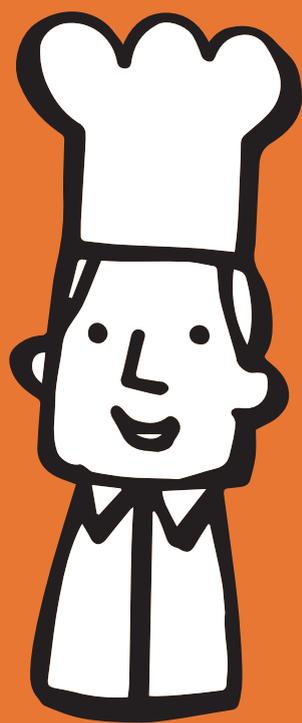
ダムの建設される付近の寒狭川は、伊勢三河湾周辺の河川にのみ棲息している固有種^{こゆうしゆ}で、絶滅危惧種、国の天然記念物に指定されているネコギギというナマズの仲間の重要な棲息地として知られています。

^{すみか}
僕たちの棲家が
なくなってしまう



Q6

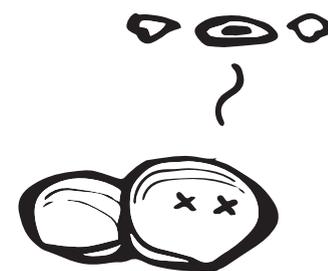
環境への影響は？



寒狭川の清流が失われ、 三河湾まで深刻な影響が及ぶ

ダム湖の水質は清流とは比較にならないほど悪化し、ダム下流への土砂供給が止まります。川の流れに変化が乏しくなり、川が川でなくなります。ダムが水をため込むので、豊川から三河湾に流れ込む流量が夏に減って、渥美湾（三河湾東部）の海水交換が弱くなり、**酸素不足によるアサリなど魚介類の被害が大きくなります。**

近年、愛知のアサリが国産アサリの大半を占めています、そのアサリの子（稚貝）が育つところは豊川河口の干潟・浅場（六条潟）です。設楽ダムは、土砂供給を減らし、豊川の水の流れ方を大きく変えるため、アサリに対する影響は避けられません。



あさりの稚貝

Q7

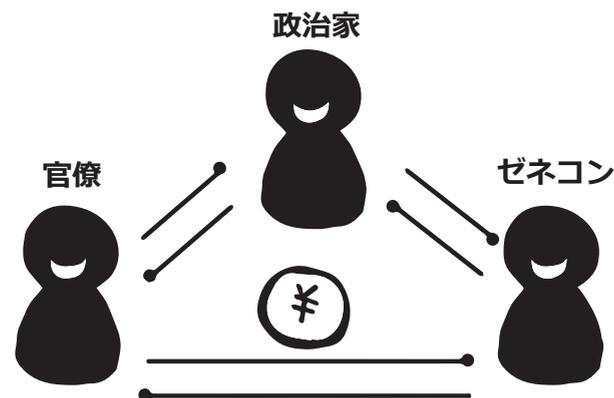
ムダな「公共事業」で
得をするのは誰？



得をするのは、政官業の
「鉄のトライアングル」です

日本一の大きな6億6千万m³の徳山ダムは、建設省中部地方建設局によって計画され、途中水資源開発公団に移管されてつくられましたが、このダムの水は一滴も使われていません。役に立たない公共事業の典型、徳山ダムや長良川河口堰を計画した同じ組織（中部地整）が設楽ダムをつくろうとしています。徳山ダムの建設を請け負ったのは、熊谷組、大成建設などのゼネコン。彼らが政治を動かしているのので、大型の公共事業をやめようとしません。

政官がゼネコンに税金を配分し、その還流金で懐を温め、官僚組織を肥大化させる政官業癒着の構造を「鉄のトライアングル」と呼びます。御用学者やマスコミも加わり、「河川村」ともいふべき、「鉄のペンタゴン」ができているとも言われます。



Q8

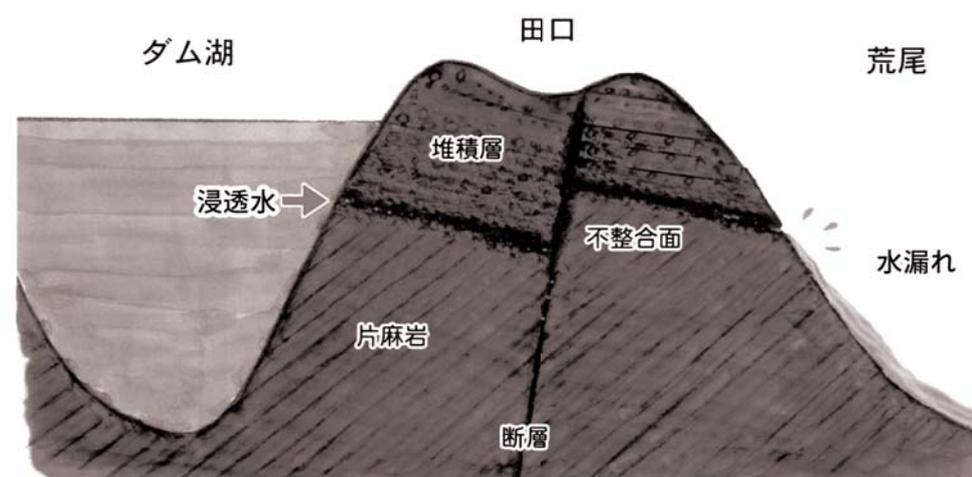
今のまま進むと
完成するのはいつ？



完成予定は
平成32（2020）年度
とされています

設楽ダム基本計画では、平成32年度にできるとされていますが、工事にとりかかるには未だいくつも壁があり、ダム本体の建設は始まっていません。ダム予定地の地盤はもろいため、水をためると崩落や水漏れという事故の恐れもあり、**本当のところは、いつになるか分かりません。**

付替え道路、地盤調査、民地の買収補償、立木トラストへの対応、漁業権…etc



ダム湖の水は浸透して漏れる？（設楽町田口付近の地質断面）

Q9

どうすれば止められるの？



立木トラストに参加して 反対運動を盛りあげよう

滋賀県に国がつくり始めて、水没地区の全戸が移転した丹生ダムについて、つい最近、中止する方針がでました。私たちが声を上げ、ダム不要の明確な世論を作れば、止められます。当会では、ダムに反対する山主さんたちと連携して立木トラスト運動を行っています。立木のオーナーになっていただく他に、立木トラスト山の維持管理を担う林業ボランティアも募っています。



URL : <http://no-dam.net/trust.html>



木の幹に名札を付けて「わたしの木」であることを明示します。立木の所有者がダム反対の意思表示をする運動です。

2013年12月末時点の申込者は3280名です。

Q 1 0

わたしたちの将来は
どうなるの？



ムダな事業にお金を 注ぎ込む余裕はありません

日本の借金は膨らみ続けていますが、これから人口減少期に入って税収が減るいっぽう、遠くないうちに起きると言われる巨大地震、温暖化による気候変動など、私たちが対応しなければならぬことは山積みです。

高度経済成長期以来、これまでに作り続けてきた道路や橋、トンネル、鉄道、ダムや堰、用水路などの補修費、維持費を工面するだけでも予算が不足します。ムダな事業にお金を使えば、**インフラの維持管理にもこと欠き、橋が落ち、トンネルが崩れます。**

ムダな公共事業で、国と地方の借金は膨らみ続けて国民一人当たり 800 万円を超え、世界一の水準となっています。若者・生産労働人口が減り、肩にのしかかる負担は耐えられない大きなものになるでしょう。高齢社会への対応、若者の働く場の確保、自然エネルギー産業を興すなど、意味のある公共事業を進めることが大切ではないでしょうか。